

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪水対策作業		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年4月30日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	電気室除雪(ショベルを使用)	作業手順書	作成年月日	令和3年1月12日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ウ ラスを記す)	ショベル、標識車(後尾警戒車)		現場責任者	自車サイン
			元請確認	
使用工具 機器 (大きさ太さ等は具 体的な寸法を記 す)	ハンディー無線2機		改正年月日	
			作業順序	
保護具	ヘルメット、フォッキ、安全靴、手袋、警笛、黄旗		1	事前調査
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す)	大型免許、大型特殊、中型・普通免許		2	準備作業
			3	基地を出発
作業人員 (当該作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	特殊運転手 1人、運転助手 2人、運転手 1人		4	除雪作業
	合計 4名		5	基地へ帰着
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	6	後片付け
			7	
			8	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可 能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対策の指示
	×	×○	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度 職長が確認
	×	×○	×△	××	△×、×△	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知					

作業項目 (誰が)	内容 主なステップ	留意事項 作業のポイント	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスク レベル	ミス・ ロス	危険性・有害性の除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前調査(巡回)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物や積雪状況の確認							
準備作業									
	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	機械・道具の点検	日常点検により動作の確認							
	作業箇所の確認	雪水本部で当日作業箇所と規制線の確認							
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(フォッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検・工具の確認・積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両高がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認 。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
基地を出発									
	雪水本部へ作業開始連絡	雪水本部より低速車が入った連絡を受けてから出発する							
除雪作業									
	① 作業箇所へ移動	作業現場300m手前についたらハザードで注意喚起を行い、路肩へ流入する。	路肩へ流入する時に、急に減速したため、後方についていた一般車両が追突する。	△	×	△	4		路肩に流入する時は、ハザードを点灯した後、急にスピードを落とさず、徐々にスピードを落とす。
	"	本線の線形等を考慮し、作業箇所の200~300m手前から後尾警戒車を配置する。	除雪作業を行っている時、オ一方から零れ落ちた雪が本線に転がり通行車両と接触する。	△	×	△	4		本線に近い箇所を除雪する時は、通行車両が通る時は作業を一旦止める。雪が転がったのを確認した時は速やかに雪を撤去する。
	② 除雪作業	構造物や排雪方向を現地で確認した後、作業を開始する。	ショベルの向きを変える時に、本線に車両が飛び出し通行車両と接触する。	△	×	△	4		ショベルが本線に出る時は、無線にて後尾警戒車と連絡を取り、通行車両の切れ目を狙い行う。
	"	後尾警戒車と無線で連絡を取り合い、路肩・電気室の駐車スペースの除雪を行う。	除雪作業を行っている時、バケツから零れ落ちた雪が本線に転がり通行車両と接触する。	△	×	△	4		本線に近い箇所を除雪する時は、通行車両が通る時は作業を一旦止める。雪が転がったのを確認した時は速やかに雪を撤去する。
	③ 現場離脱	除雪作業が確認したら、構造物の損傷等がないか現地を確認してから離脱する。	路肩から流出する時に、通行車両の接近に気づかず、接触する。	△	×	△	4		後尾警戒車と無線で連絡を取り合い、通行車両の切れ間で路肩から流出する。その際、目視での後方確認も必ず行う。
	作業終了まで①~③を繰り返し行う。								
基地へ帰着									
	雪水本部へ作業終了連絡をする。	作業箇所の路肩に雪が残っている時は、路肩拡幅の要請を行う。							
後片付け									
	洗車・給油を行い車両を片付ける	車両に異常や破損等がないか確認し、発見されたときは速やかに雪水本部へ連絡する。							工事車両高を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事